

12/28（土）に加古川市がかわまちづくり機運醸成に向けた社会実験として実施している『加古川deリバーKitchen』が、株式会社ムサシ（かわまちづくりにおいて賑わい交流拠点を整備・運営する事業者：SAVE KAKOGAWAコンソーシアム代表企業）が主催する「ムサシオープンデパート朝市」と協働で開催されました。かわまちづくり協議会のメンバーである姫路河川国道事務所は、加古川市と協働でブースを出し、スタンプラリーや、災害対策車両（対策本部車、照明車）の展示を実施し、にぎわいづくりに寄与するとともに、来場者に『かわまちづくり』の取組や防災の取組についてPRしました。

＜概要＞

- 日時：令和6年12月28日（土）9時～14時
- 場所：加古川左岸堤防上・河川敷
- 主催：加古川市、株式会社ムサシ
- 協力：姫路河川国道事務所
- 来場者：約1600名

＜出展・展示・説明内容＞

- ・スタンプラリー・クイズ
- ・防災グッズ・堆肥・ペーパークラフトの配布
- ・事務所の事業概要パンフレットの配布
- ・災害対策車両（対策本部車、照明車）の展示
- ・かわまちづくりや災害時の国土交通省の取組について



＜加古川河川敷＞



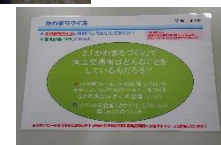
＜ブース（景品配布場所）＞



同日開催された寺家町商店街イベント会場にもスタンプを設置しました（加古川市のキャラクター：かこのちゃんと一緒に設置）



＜スタンプラリー＞



「かわまちづくり」についてのクイズも出題しました



＜対策本部車＞



＜照明車＞



＜対策本部車の室内風景＞

能登半島地震の際の取組について説明しました

＜参加者の感想＞

- ・スタンプラリーに参加して、防災グッズが貰えたので、災害に対する意識が高まったと思う。
- ・災害対策車の中に入ることができ、色々な設備があって、実際に災害が起こったときの取組についても知ることができた。
- ・かわまちクイズを通して、加古川における国土交通省の取り組みについて知ることができて良かった。

【問合せ先】
国土交通省 近畿地方整備局 姫路河川国道事務所 調査課
〒670-0947 兵庫県姫路市北条1-250 Tel: (079) 282-8211(代表)



① ホームページ <https://www.kkr.mlit.go.jp/himeji/index.php>

② X(旧Twitter) https://twitter.com/mlit_himeji

①



②



「話そうはりま」は皆さまと一緒に明日の播磨のまちづくりを考えていくという私たちの姿勢です！